

2021年3月期(第88期) 期末 決算概要

株式会社ユニバンス

<https://www.uvc.co.jp/>

2021年5月14日

連結経営成績



単位:億円	'19年度	'20年度	前期比較	
	通期	通期	増減額	増減比率
売上高	562.9	462.5	△100.4	△17.8%
営業利益	△5.2	△6.6	△1.4	-
経常利益	△11.5	△2.5	+9.0	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△35.6	△13.1	+22.5	-

為替レート (期中平均)	'19年度	'20年度	前期比較	
	通期	通期	増減額	増減比率
円/ドル	109.25	106.44	△2.81	△2.6%
円/100ルピア	0.767	0.733	△0.034	△4.4%
円/ハーツ	3.51	3.42	△0.09	△2.6%

単位:億円	'19年度	'20年度	
	6か月平均	上期	下期
売上高	281.4	169.8	292.7
営業利益	△2.6	△24.3	17.7

対前期比較:減収赤字縮小

売上高

・下期において売上が前年度程度に回復したが、上期(全拠点)における新型コロナウイルスの感染拡大影響に伴う販売不振により大幅な減収となった。

(前期比) 日本△56.2億円(△18%) 米国△33.4億円(△37%) アセアン△10.8億円(△6%)

営業利益

・人件費や経費、減価償却費等の構造改革の効果で下期黒字化したが、上期の大幅な減収影響により、赤字拡大となった。

経常利益

・雇用調整助成金等の営業外収益および、19年度対比での為替差損差異により、赤字縮小となった。

当期純利益

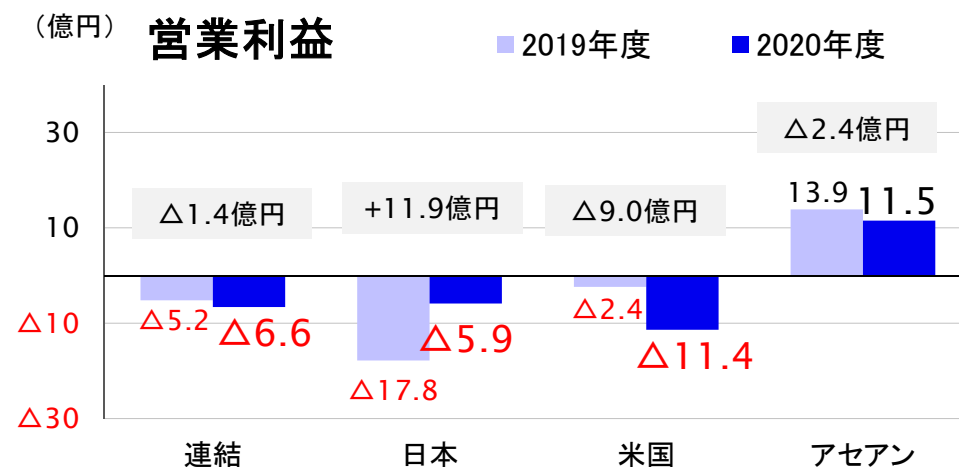
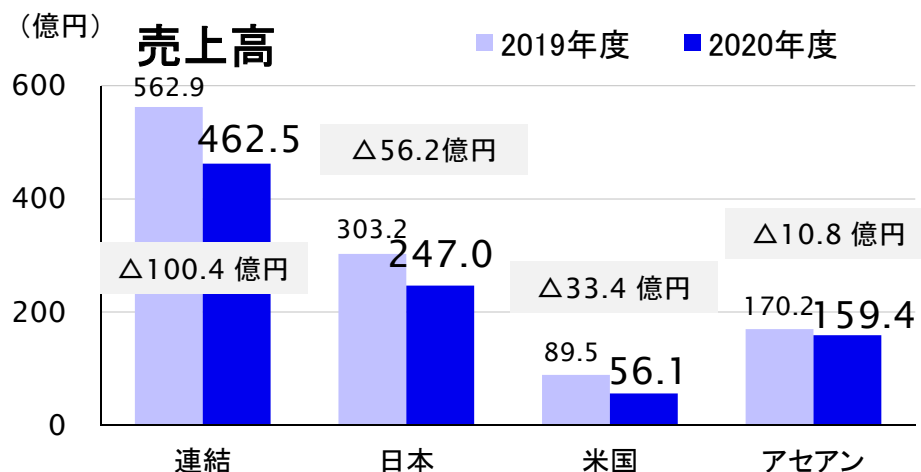
・19年度における固定資産の減損(△16.9億円)等により、赤字縮小だが、繰延税金負債の計上等により赤字継続。

事業別/拠点別 売上増減(前年度平均比)

事業	部品群	全体 (率)			拠点											
					日本			米国			インドネシア			タイ		
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
ユニット	FR用四輪駆動装置	49%	111%	80%	30%	61%	46%							52%	119%	86%
	FF用四輪駆動装置	71%	118%	95%	85%	120%	101%	47%	43%	45%	250%	80%	157%	83%	193%	138%
	農機用トランスミッション	63%	118%	91%	63%	118%	91%									
	マニュアルトランスミッション	47%	78%	63%	47%	78%	63%									
	電動駆動系製品	69%	100%	85%	69%	100%	85%									
	その他	57%	100%	78%	58%	102%	80%	50%	80%	60%						
	計	58%	110%	84%	56%	96%	76%	46%	45%	45%	250%	80%	157%	59%	137%	98%
部品	CVT用部品	76%	97%	86%	81%	100%	90%	64%	89%	76%						
	AT用部品	56%	133%	94%	56%	133%	94%									
	リンク他	65%	82%	73%	65%	82%	73%									
	その他	54%	114%	84%	51%	124%	87%	77%	113%	95%	27%	67%	45%			
	計	67%	102%	85%	69%	105%	87%	67%	95%	81%	27%	67%	45%	-	-	-
合計		62%	107%	84%	63%	101%	82%	58%	73%	65%	80%	66%	74%	59%	137%	98%

上期のコロナ影響による売上減少に対し(昨年度平均の62%)、インドネシアの国内向け売上(部品)の回復が遅れているものの、下期は前年度以上に回復している。(昨年度平均の107%)。
(米国は決算期間の3ヵ月ずれあり)

拠点別：連結売上高・営業利益(前期比)



連結：【減収赤字拡大】

日本：【減収赤字縮小】

米国：【減収赤字拡大】

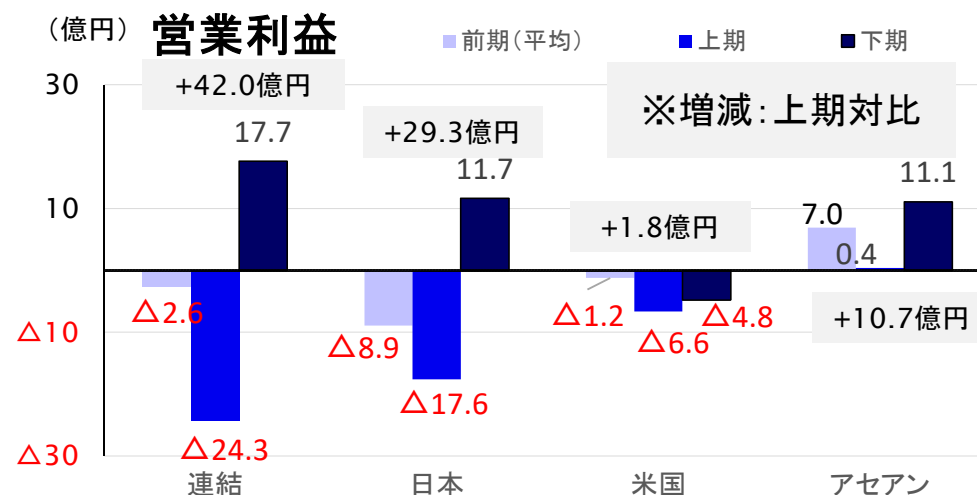
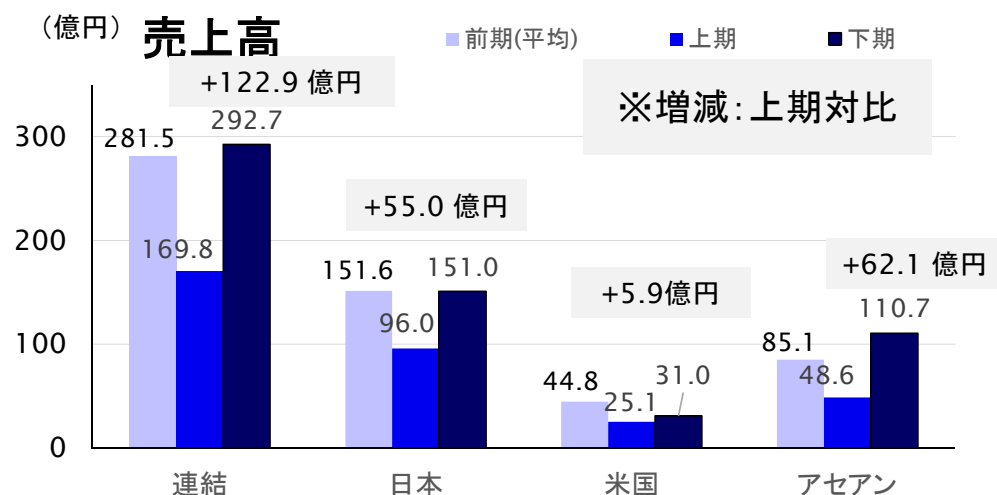
アセアン：【減収減益】

・CVT/AT用部品及びユニットの(FR用 四輪駆動装置、農機用トランスミッション) 販売減少による減収影響はあるが、人件費や経費等の固定費の削減影響により赤字幅は縮小となった。

・FF用 四輪駆動装置およびCVT用部品の販売減による減収影響により、赤字拡大となった。

・FR用 四輪駆動装置の販売減による減収影響により、減益となった。

拠点別：連結売上高・営業利益（上期・下期対比）



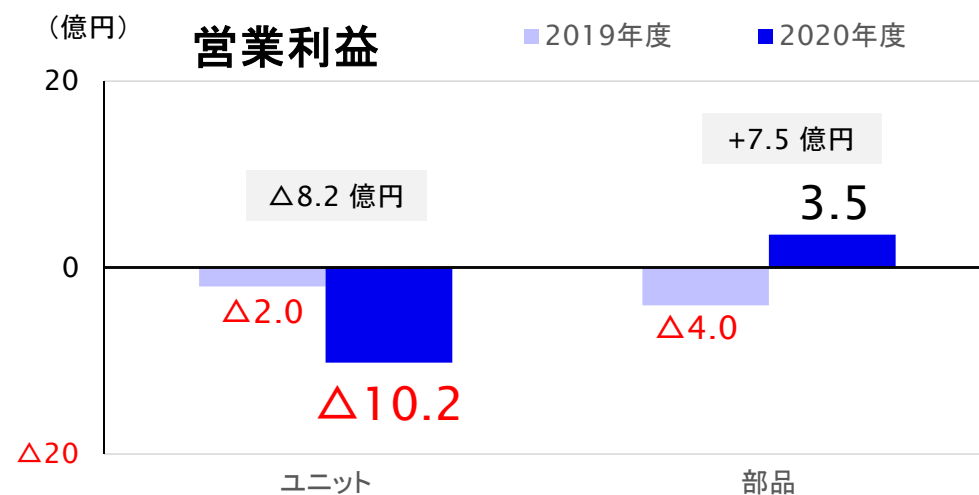
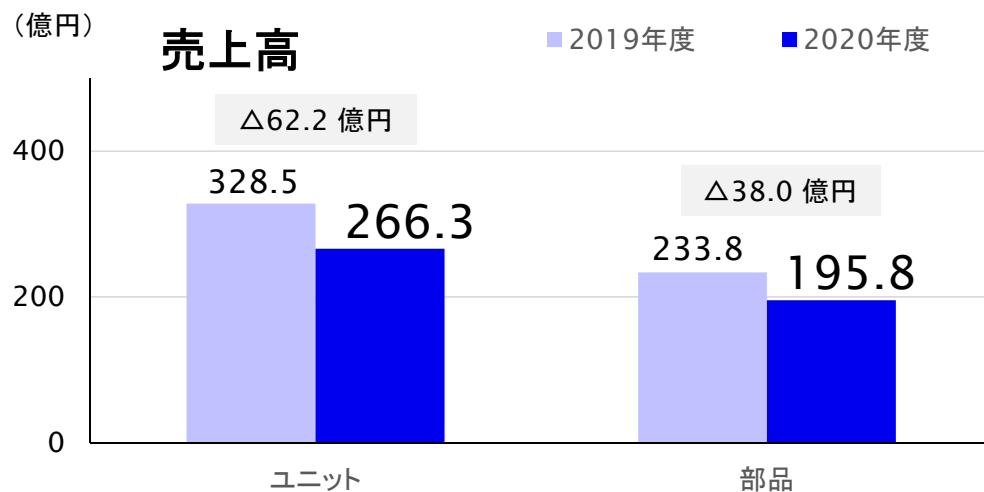
※上期・下期対比 連結：【増収黒字化】

日本：【増収増益】 ・CVT/AT用部品およびユニット(農機用トランスミッション)の販売回復による増収影響に加え、構造改革、収益改善の効果により増益となった。

米国：【増収赤字縮小】 CVT/AT用部品販売の販売回復による増収影響に加え、固定費の抑制により赤字縮小となった。(事業構造の変革や、決算期ずれに伴うコロナ影響の下期ずれ込み等により、回復の影響は軽微)

アセアン：【増収増益】 ・FR用 四輪駆動装置の販売回復による増収影響に加え、固定費の抑制により増益となった。

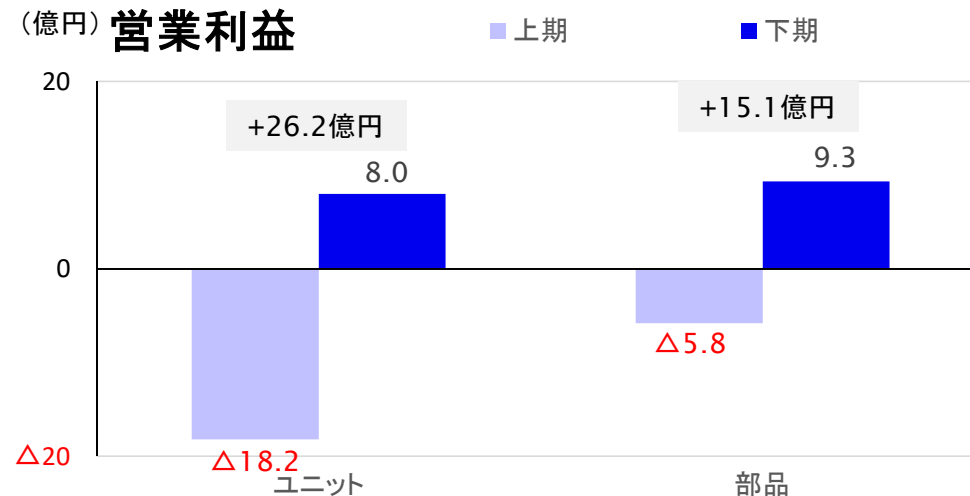
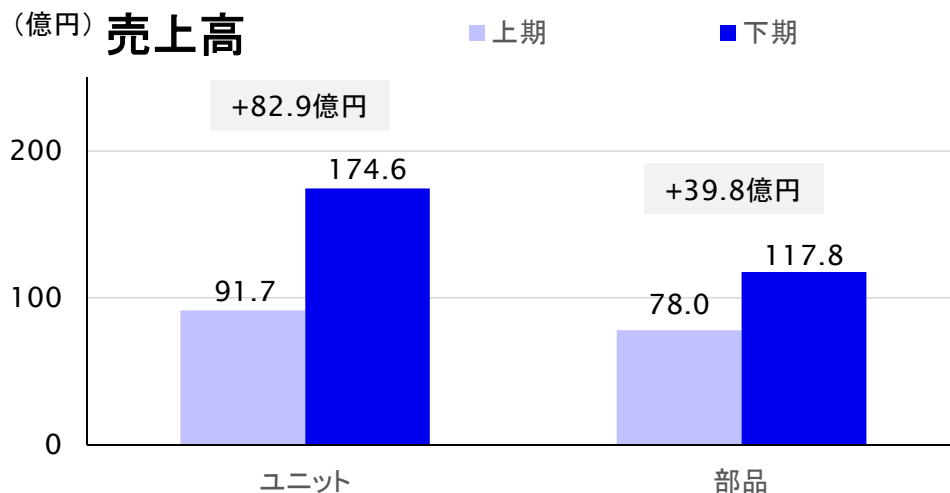
事業セグメント別：連結売上高・営業利益(前期比)



ユニット：【減収赤字拡大】 ・タイ拠点(FR用 四輪駆動装置)および日本拠点(FR用 四輪駆動装置、農機用トランスミッション)の減収影響等により、赤字拡大となった。

部 品：【減収黒字化】 ・日本拠点(AT/CVT用部品)および米国拠点(CVT用部品)の販売減による減収影響等があったが、昨年度の減損に伴う減価償却費の減少や、固定費の抑制により黒字化となった。

事業セグメント別：連結売上高・営業利益 (上期・下期対比)



※上期・下期対比

ユニット：【増収黒字化】 ・タイ拠点(FR用 四輪駆動装置)のおよび日本拠点(FR用 四輪駆動装置、農機用トランスミッション)の販売回復による増収影響により黒字化となった。

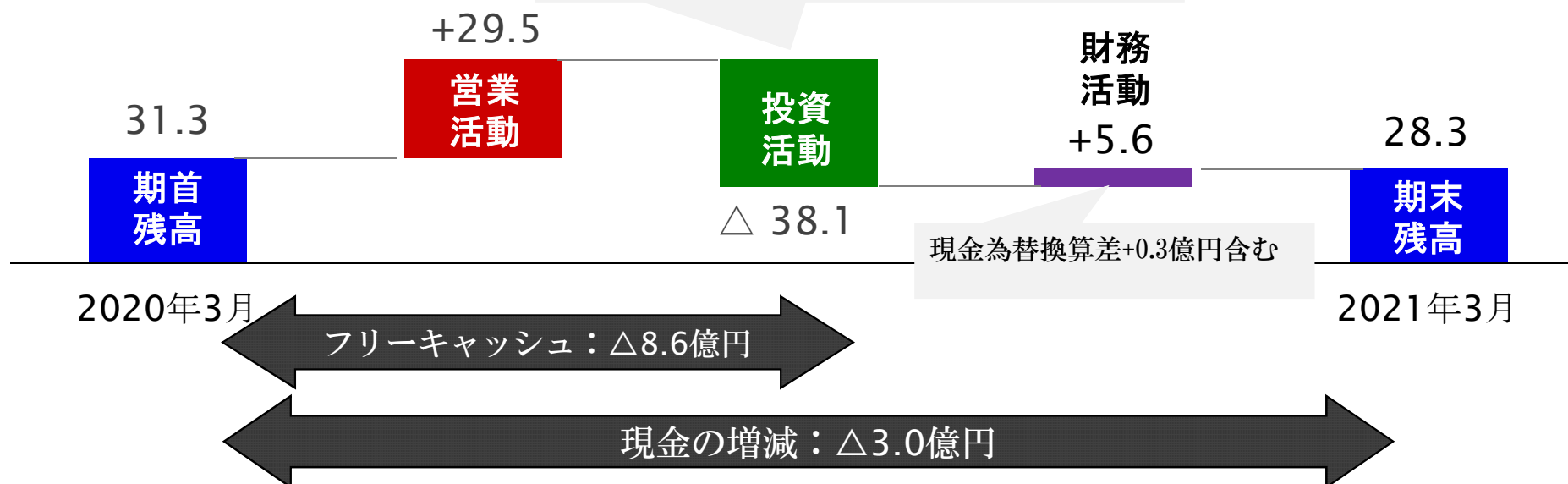
部 品：【増収黒字化】 ・日本拠点(AT/CVT用部品)の販売回復による増収影響等に加え、固定費の抑制により、黒字化となった。

連結キャッシュフロー

(単位:億円)

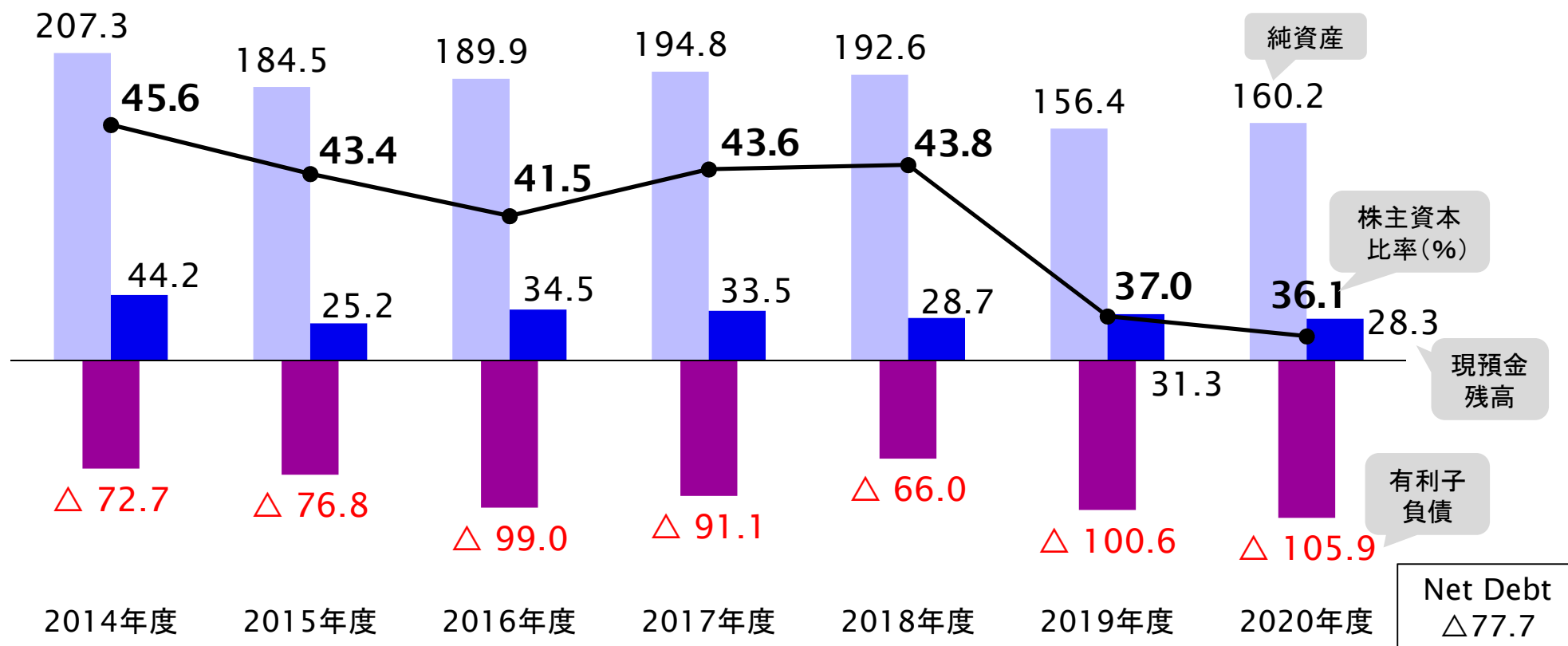
【主な投資内容】

- ・日本本社：△10.2億円
 - 新規：△7.7億円
 - その他更新等：△2.5億円
- ・海外：△11.9億円
 - インドネシア新規：△4.8億円
 - タイモデルチェンジ：△5.2億円
 - その他更新等：△1.9億円
- ・設備未払い：△16.0億円



連結有利子負債・株主資本推移

(単位: 億円)



2021年3月期 連結通期業績予想

単位:億円	2020年度	2021年度	前年度比較	
	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期予想	増減額	増減率
売上高	462.5	※1 480.0	17.5	※2 3.8%
営業利益	△ 6.6	20.0	26.6	—
経常利益	△ 2.5	18.0	20.5	—
当期純利益	△ 13.1	14.0	27.1	—
配当金				
第2四半期末	—	3円		
期末	2円	3円		
為替レート通期平均				
円/米ドル	109.25	105.00	△4.25	
円/100ルピア	0.770	0.750	△0.020	
円/バーツ	3.51	3.48	△0.03	

※1 「収益認識に関する会計基準」を適用した後の金額 ※2 旧基準を適用した場合の前期比増減率:14.6%増